

7. 都市マス見直しの論点 (案)

【現行都市計画マスタープランの検証】

- ・現行都市計画マスタープラン策定(H16)以降、市街化区域編入の決定はなし。※既決定の案件でH16以降編入されたものを除く
- ・各種誘導・規制により、郊外住宅地等の環境を維持・保全
H18用途地域見直し
H24用途地域見直し
地区計画
- ・各事業を通じて拠点等への機能集積が進行
・市街地再開発事業(琴似、手稲、篠路、東札幌)
・パートナーシップによるまちづくり
(苗穂、白石、新札幌)

【まちづくり戦略ビジョンの方向性】

【都市空間創造戦略】

- 1 魅力ある市街地
- 2 活力があふれ世界を引き付ける都心
- 3 多様な交流を支える交流拠点
- 4 持続可能な都市を支えるネットワーク
- 5 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

【戦略を支える都市空間】(集約連携都市)

- ・低炭素社会・エネルギー転換の視点
- ・都市基盤の維持・保全と防災力の強化の視点
- ・利便性の高い地域への居住の誘導
- ・地域交流拠点のうち、地下鉄始発駅(ゲートウェイ拠点)の位置付け
- ・国際性、競争力のある都市づくりの視点

低炭素
都市づくり

安全・安心
都市づくり

【札幌市を取り巻く現況、動向、課題】

- 【人口・高齢化】
 - ・都心回帰に伴う都心部の市街地環境の形成。
 - ・郊外部の高齢人口増加による、福祉・医療、生活利便施設への移手段の確保。
- 【交通】
 - ・郊外部の自動車依存が高い。
 - ・高齢者が増加する中で、自動車の運転ができなくなった際の移手段の確保。
- 【環境・エネルギー】
 - ・市民生活に起因、自動車利用によるCO₂排出量の削減。
 - ・再生可能エネルギーの積極的な導入に向けた都市計画面からの支援。
- 【財政】
 - ・インフラの維持・補修に利用できる予算が限られる中での、効率的な都市基盤維持のあり方。
- 【市街地形成】
 - ・地域の成り立ちや異なる特性を踏まえた地域づくり。

【都市計画マスタープラン見直しの論点・検討課題(例)】

都心・拠点への多様な都市機能の集約・集積をいかに誘導するか

- ・既存不適格建築物の建て替え更新時期を捉えた各種施策展開の検討
- ・拠点における多様な都市機能の集約・集積誘導の検討(インセンティブの付与などによる誘導施策の検討)
- ・都心回帰の傾向を踏まえた集住化施策の検討
- ・都心のアクセス強化道路軸の検討
- ・世界を引きつける都心のあり方の検討
- ・オープンスペースネットワークのあり方の検討
- ・景観まちづくり推進の検討
- ・地下鉄始発駅の機能向上促進の検討
- ・既存のエネルギーネットワークの活用の検討 など

人口減少・高齢化が進行する郊外住宅地・一般住宅地はどうあるべきか

- ・身近な場所における生活利便機能等のあり方の検討
- ・地域における交流機能の検討
- ・郊外部の持続可能な地域交通体系の検討
- ・豊かな自然環境の活用検討 など

持続可能な都市づくりのため、市街地インフラ維持更新をいかに進めるか

- ・都市経営を念頭にいた全庁横断的な公共施設・インフラの在り方の検討 など

市街地特性、地域特性を考慮した地域のまちづくり

- ・市民・企業・行政の連携協働による取組

8. スケジュール (予定)

		平成26年																					平成27年														
		5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
検討部会							■ 6/30				■	■	■				■			■						■						■					
		第1回: ・都市マス見直しの必要性 ・都市マスの位置づけ等 ・都市マスの概要 ・現行都市マスに基づく取組状況 ・戦略ビジョンにおける、都市空間の創造にあたっての基本的な考え方 ・札幌市を取り巻く現況、動向、課題 ・都市マス見直しの論点(案) ・スケジュール(予定) ・市民アンケート						第2回: ・見直し方針 ・見直し骨子の概要 (目次構成に沿った修正の方向性) ・市民意向の把握の進捗 ・再開発方針の概要						第3回: ・都心、複合型高度利用市街地、拠点のあり方について (都市づくりの基本理念、基本目標、原則と見比べながら議論) ・上記議論を受けた見直し骨子について ・再開発方針見直しの方向性						第4回: ・郊外住宅地、一般住宅地、市街化調整区域のあり方について (都市づくりの基本理念、基本目標、原則と見比べながら議論) ・上記議論を受けた見直し骨子について ・再開発方針骨子案						第5回: ・計画素案(1) ・再開発方針骨子案						第6回: ・計画素案(2)					
	都市計画審議会	●			●			●			●			●			●			●						●											
	市民アンケート							■																													
	子どもアンケート										■																										
	子ども議会																									●											
市民ワークショップ																●																					

9. 市民アンケート

(1) 意向調査の目的

戦略的に進める必要があるテーマについて、以下の内容を中心に市民の意向を把握し、都市計画マスタープランにおける今後の都市づくりの方向性検討のための参考とする。

- ①【都市構造の再編・維持】に関して、都心居住、郊外居住などの**居住形態や必要な居住環境**などについて、住み手としての意識・意向を把握する。
- ②今後の都市づくりにおける【重要なテーマへの対応（交通、緑地、景観、環境、防災等）】に関して、市民の**関心の高さや取り組みに対する意識・意向**を把握する。
- ③今後の都市づくりを支える【地域との協働】に関して、**地域との協働、地域活動等への参加**についての市民の意識・意向を把握する。

(2) 実施方法

- ①実施時期：平成26年7月
- ②実施方法：郵送による配布・回収
- ③配布対象：札幌市民3,000人（18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から無作為抽出）
- ④配布物
 - ・アンケート調査の案内（A4版片面）
 - ・都市計画・都市マスに関するパンフレット（A4版両面）
 - ・調査票：A4版8ページ

(3) 設問内容（案） 「★」は子どもアンケートの設問（表現・選択肢等は子ども向けに修正）

項目	設問内容	把握したいこと、ねらい
問1 回答者の属性	・性別★／年齢★／居住区／職業／札幌での居住年数／家族構成／住まいの形態（戸建、マンション等）／自家用車の有無	・問2以下の設問について、必要に応じて属性別の傾向を把握（クロス集計による分析等）
問2 都市計画への関心	・都市計画マスタープランを知っていたか ※パンフレット添付 ・これまで、まちづくりに関する情報を広報やHP等で見たことがあるか	・都市計画やまちづくりに関する市民の認知度や関わりを把握
問3 居住意向	・今後も札幌市に住み続けたいか★ ⇒ 住み続けた理由、住み続けたくない理由 ・今後、住みたいと思う居住環境（都心、拠点、高度利用住宅地、一般住宅地、郊外住宅地などをイメージできる選択肢）★ ・利便性の高い場所へ移り住んだ場合の公共交通の利用意向 ・居住環境に重視すべき要素（生活利便性（買い物・医療等）、交通利便性（公共交通、車）、安全性（防災、防犯）、コミュニティ、公園緑地・景観等）★	・都市構造の再編・維持を検討する際に、考慮すべき市民の居住ニーズを把握 ・都市の低炭素化にかかる施策効果算出のための公共交通への転換率算出
問4 今後の都市づくりに関する意向	・今後の都市づくりの方向性に関する意向 ※説明図等 ・興味関心のある取組（拠点の活性化、生活利便性の向上、景観形成、環境配慮、安全性向上、自然の保護等） ・個別の取組に関する意向（再生エネルギーの活用、景観形成、道路・交通、公園・緑地、空き地・空き家等）	・今後重視すべき都市づくりのテーマについて、市民の関心・ニーズを把握
問5 まちづくりへの参加意向	・今までのまちづくり活動への参加の有無 ・今後のまちづくりへの参加意向（話し合いに参加、アンケートに協力、意見投稿、情報共有、参加しない等）	・今後の都市づくりにおける「協働」の取組についての市民の意向を把握 ・WS参加者の抽出
問6 自由意見	・札幌市の都市づくり全般についての自由意見★	・問2～5で把握できない市民の関心やニーズ等を抽出